



「感動」・・・あの歌に、この姿に

学校長 小木曾敏樹

昨年度は、コロナの影響で1ヶ月間延期して実施した「歌声交流会」。今年は、インフルエンザで残念ながら出られなかった子たちが数名いましたが、予定通りに実施。学年1曲から2曲に増やし、全校合唱も全校児童で歌い、全13曲のステージを予定通りに行うことができました。保護者の皆様には、ご参観いただきありがとうございました。子どもたちの歌はいかがでしたか。私は、ホームページに掲載する写真を必死に撮りながらも（暗いので、安いカメラではボケてしまうため）子どもたちの歌に、頑張る姿に、ずっと感動していました。

この「歌声交流会」もそうですが、他の学校よりも行事が少し多いかもしれません。校外に出かけることも多いかもしれません。わざわざ文化会館まで行く必要はないと考える方もいることでしょう。しかし、そこで得られる学びや感動は、何ものにも代え難い、とても大きなものだと思います。指揮をする子、伴奏する子、ステージで話す子、それぞれに家でも練習し素敵な姿を見せてくれました。もっとこういうふうに歌った方がいいと、子どもたちで議論した学年もありました。歌や振り付けを休み時間に練習する姿もありました。一生懸命努力する経験と、その結果得られたものが輝いているという経験は、学童期においてはとても貴重な経験であり、必要な学びだと考えています。

学年が上がるごとに、歌も、声も、姿勢も、何もかもが変わっていく。それを観て、あこがれを抱き、そうなろうと努力する……。いつかは、6年生が歌った歌を歌いたい、あんなふうに歌いたい、あんなふうになりたいと、下級生は思ったことでしょう。整った施設で、歌を聴くのにふさわしい環境で、より輝いて見えるステージで、そのあこがれをより強いものにしたと思います。あまりの緊張感で、自分の出番が終わった後はほっとして、寝てしまった子もいたようですが……。

6年生は、お父さんお母さんに届けたい思いを込めて歌ったそうです。子どもたちのメッセージは伝わりましたか。このメッセージには、「返信不要」とは書かれていないはずです。言葉で、温もりで、返信メッセージを伝えてあげてください。



「見守り隊」の皆様、ありがとうございました

コロナ前は、見守り隊の皆様を学校にお招きし、簡単な感謝の会を行っていたようです。コロナでそれもできず、見守り隊の方々も出入りがあり、名簿さえ作成されていない状態でした。各区長様方へお願いし、見守り活動をしていただいている皆様を「歌声交流会」にお招きして、お伝えできなかった感謝の思いをお伝えしたいと考えました。また、校区の区長様、民生児童委員の皆様にも、ご来賓として参観いただき子どもたちの頑張りを観ていただきました。「本当にいい会だった。」「子どもたちの歌が聴けてうれしかった。」といったお言葉をいただきました。コロナもインフルも関係なく、暑い日も寒い日も、子どもたちの安全安心を見守り続けてくださっている皆様に、また、様々な場面で子どもたちや学校を支えてくださっている皆様に、日頃の感謝をお伝えできたこと、学校としてもうれしく思っています。本当にありがとうございました。これからも、地域に根ざした学校、地域とともにある学校を目指していきます。ご協力のほどよろしくお願いします。

